

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する八峰町が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和7年8月19日

作成担当部署 八峰町商工観光課

2 第三セクター等の概要

法人名 ハタハタの里観光事業株式会社

代表者名 代表取締役 堀内 満也

所在地 山本郡八峰町八森字御所の台 51 番地

設立年月日 平成5年9月27日

資本金 95,000 千円【八峰町の出資額（出資割合）60,000 千円（63.2%）】

業務内容 ハタハタ館の管理運営

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

ハタハタの里観光事業株式会社は、平成5年9月27日に、旧八森町が事業主体となり建設中であった温泉保養施設「ハタハタ館」を管理運営する目的で設立された第3セクターであり、創業後30年を迎えた現在は、温泉宿泊施設「八森いさりび温泉ハタハタ館」、「八峰町緑地等管理中央センター」の管理運営のほか、町配食サービス事業の受託業務等を行っている。

経営状況は創業当初から多額の借入金を抱えるなど厳しい経営となったが、平成19年4月のハタハタ館リニューアルオープンからは黒字に転じ、5年間にわたり町観光振興基金への寄付も行った。

しかし、近年は燃料費や人件費など販売費及び一般管理費の増嵩、近隣競合施設の相次ぐリニューアルに伴う客離れ等による売上の減少により、平成29年度からは連続して経営赤字に陥るなど大変厳しい状況となった。

このことから、令和2年3月に経営改善計画を策定し、「経営体制の強化」「さらなる経費削減」「組織のスリム化及び赤字部門の縮小または廃止」に取り組み、営業面及び財務面での再構築を行い、経営改善に努めたものの、令和2年から新型コロナウイルス感染症が大流行したほか、毎年のように自然災害に見舞われ、国内の観光産業は大打撃を受け、当社においても大きく売り上げを落とすこととなった。

このような状況の中、ハタハタの里観光事業株式会社は、国、県、町及び民間企業が実施したコロナ関連施策を有効に活用し、売上の向上に努めたほか、当町としてはこれまでの指定管理料の考え方を見直し、令和4年12月に指定管理料を引き上げ、経営の安定化を図ってきた。

当町は前述の指定管理料引き上げに加え、これまで、ハタハタ館の温泉設備や空調設備をはじめとした改修及び修繕等を行うなど、施設の維持管理や魅力向上を図ってきた。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

ハタハタの里観光事業株式会社では、令和2年3月に経営改善計画を策定し、経営改善に努めてきたが、コロナ禍における宿泊助成により売上総利益は持ちこたえたものの、人件費やエネルギー価格の高騰等により、営業利益の赤字幅は増加している。

このことから、当町ではハタハタの里観光事業株式会社に対して経営計画書の提出を求め、令和6年1月に、令和6年度から令和8年度を計画期間とした計画書を受け取ったほか、より具体的な経営状況等の分析と対策に関する検討を始めた。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

当町としては、ハタハタの里観光事業株式会社との連携を強化し、経営健全化に向け、経営計画書に基づいた下記の取り組みを着実に進めることで早期の債務超過解消を目指していく。

①温泉部門

- ・温泉棟及び設備の修繕の実施、貸切風呂の増設検討、サウナ室のリニューアル検討

②売店部門

- ・新規取引先の開拓とオリジナル商品の開発、売店レイアウトの変更

③飲食部門

- ・調理スタッフの確保によるレストラン通常営業の継続、営業スタッフ確保による宴会仕出しの売上向上、食事と入浴体験メニューの充実、立ち寄り昼食・弁当積み込みツアーの誘客、宴会プラン及び飲食メニューの価格改定、屋上を活用したビアガーデン等の実施

④宿泊部門

- ・季節ごとの宿泊プラン企画とメディア・SNS等を活用した情報発信、営業スタッフ確保による売上向上、宿泊料金の改定、観光地域づくり法人（DMO）等と連携した外国人客の誘客

⑤その他

- ・照明LED化等施設整備、オリジナル体験メニューの充実、小売電気事業者の見直しによる光熱費の削減、当町との定期的な会議の実施、外部アドバイザーの活用

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（円）		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	資産総額	92,488,495	49,191,511	33,031,970
	（うち現預金）	83,467,776	41,397,674	22,171,084
	（うち売上債権）	1,181,555	1,304,026	1,439,208
	（うち棚卸資産）	2,588,315	3,342,934	3,793,665
	負債総額	90,520,367	57,976,100	60,205,321
	（うち八峰町からの借入金）	15,000,000	15,000,000	15,000,000
	純資産額	1,968,128	△8,784,589	△27,173,351

損益計算書から	項目	金額（円）		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	売上総利益	104,025,896	94,942,363	100,568,918
	営業利益	△34,556,400	△45,058,088	△51,918,275
	営業外利益	41,810,296	34,560,464	33,691,744
	経常利益	7,253,896	△10,497,624	△18,226,531
	当期純利益（税引後）	7,096,737	△10,752,717	△18,388,762